

製品名: GluR- δ 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11496**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 95kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | GRID1 |
| 別名 | GRID1; KIAA1220; Glutamate receptor delta-1 subunit; GluR delta-1 subunit |
| 遺伝子 ID | 2894.0 |
| SwissProt ID | Q9ULK0 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト GRID1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 831-880 |

背景

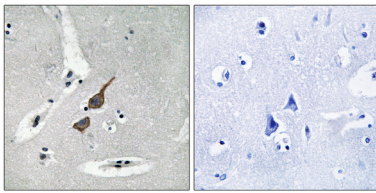
この遺伝子はグルタミン酸受容体チャネルのサブユニットをコードします。これらのチャネルは、中枢神経系における高速興奮性シナプス伝達の大部分を媒介し、シナプス可塑性において重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2009年1月]機能: グルタミン酸

受容体。L-グルタミン酸は、中枢神経系の多くのシナプスにおいて興奮性神経伝達物質として作用します。グルタミン酸のシナプス後作用は、選択的アゴニストに応じて命名された様々な受容体によって媒介されます。類似性: グルタミン酸依存性イオンチャネル (TC 1.A.10) ファミリーに属します。、

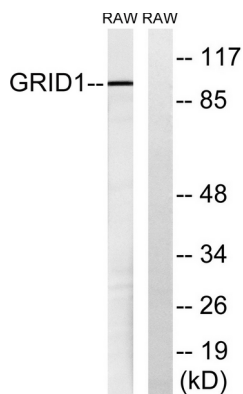
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

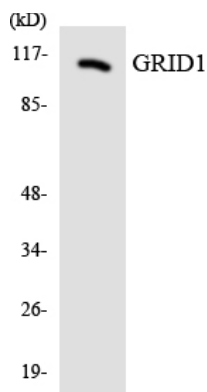
画像データ



GRID1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GRID1 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GRID1 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。